

科目名			政治・経済		学年	普通科			必／選	単位数	
					3	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	3
						国文	理進				
						○		○	○		
学 習 目 標			広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、国際関係などについて客観的に理解させる。また、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある人間として必要な態度を育てる。								
使 用 教 材			教科書：最新 政治・経済（実教出版） 副教材：最新図説 政経（浜島書店）								
評 価			評価法	定期考査、小テスト、パフォーマンス課題（スピーチ発表、プレゼンテーション、ディベート）、ロイロノート課題、ノート（プリント）、振り返りシート等で評価します。							
			評価観点の趣旨	a	知識・技能	諸資料を読み解きながら、社会の在り方や政治・経済などの仕組みを理解することができる。					
				b	思考・判断・表現	政治や経済・社会などの現代社会の複雑な課題を把握し、整理しながら説明したり、議論したりすることができる。					
				c	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現に向けて、現代が抱える課題を自ら追求しようとすることができる。					
			上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法						
					a	b	c				
1 学期	4	9	・現代日本の政治	・民主政治や法治国家の基本原理を学び、理想的な政治の在り方や政治へのかかわり方を考察する。 ・世界の政治制度を学び、国際関係の課題や平和な世界に向けた課題を考察する。 ・日本国憲法の内容から国民の権利を学び、自らの生活に活かす。 ・日本国憲法第9条の内容を理解し、国際社会における日本の立ち位置や国防の在り方を考える。 ・日米関係の変遷を学び、今後のよりよい日米関係、および世界との関係性を考察する。 ・国会・内閣・裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察させる。 ・日本の政党政治や選挙制度の特質を把握させるとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察させる。	小テスト	パフ オー マン	振り返り シート 提出物				
	5	10			中間 考査	ス課 題 中間 考査					
	6	12			期末 考査	期末 考査					
	7	8			考査	ロ イ ロ 課 題					

2 学 期	9	1 2	・現代日本の経済 ・現代日本における諸課題の探求 ・現代の国際政治	・基本的な経済の仕組みを理解させるとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察させる。 ・資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解させ、その変容を概観する。 ・市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事柄に対する理解を深化させる。 ・消費者問題や環境問題、労働問題など、様々な社会問題を扱い、よりよい社会の形成のために必要なことを考察する。 ・地域社会や財政、福祉など様々な分野において持続可能な社会の実現のために自分ができることを深化させる。 ・国際政治や国際法に関する基本的な理解を深め、国連を初め国際機関の役割について考えさせる。 ・世界で起こっている人種・民族問題や戦争の原因を理解し、日本や自分が平和な世界のためにできることを考察する。	小テスト	ロイ ロ課 題	振り返り シート
	1 0	1 2			中間 考查	中間 考查	
	1 1	1 2			期末 考查	期末 考查	提出物
	1 2	8				パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	
3 学 期	1 2	1 0 1 2	・現代の国際経済 ・国際社会における諸課題の探求	・貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を理解させる。 ・政治や経済に関する基本的な理解を踏まえ、現代の政治や経済の諸課題を主体的に追求し、持続的な社会の実現に向けて積極的に関わる態度を養う。	学年末 考查	学年 末 考查 パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	振り返り シート
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
評価方法：定期考查と小テストの点数・ロイロノート課題の内容・提出物の状況からそれぞれA～C評価で判断。							